

令和6年度 三木市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員： 8名

2 認知症地域支援推進員の役割

- 認知症の人とその家族への相談支援
- 介護予防講座、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座の開催
- 本人ミーティングのプレ開催
- 認知症カフェの支援
- 認知症予防健診後のフォロー
- 頭健康チェック（タッチパネル）による相談
- 認知症予防教室OB会のフォロー
- 認知症高齢者等の見守りSOSネットワーク
- 認知症初期集中支援チームとの連携

報告者氏名: 渋谷敦子、新本香奈子

■ 令和6年度～令和8年度の三木市認知症施策 ■

- 認知症の理解促進
- 本人・家族の発信支援

認知症サポーター
養成講座

認知症の日(9月21日)
及び認知症月間(9月)の啓発
(オレンジライトアップ等)
・ 認知症図書の掲示
・ パネルの展示

本人ミーティング

相談窓口の
周知

普及啓発・
本人発信
支援

認知症の人
とその家族

医療・ケア・
介護サービス・
介護者への支援

認知症ケアパス改訂版
の活用

認知症初期集中
支援チーム

サポート医
かかりつけ医

認知症予防健診
事後フォロー

頭の健康チェック
認知症相談

家族介護者
交流会

認知症カフェ
活動支援

認知症カフェ
連絡会

みっさい
★
いきいき体操

みっさい☆いきいき
体操自主教室

みっさい☆シニア
健康サポート事業

介護予防講座
認知症予防講座

頭すっきり教室

みっさい☆頭すっきり
クラブ活動支援

予防の推進

- 認知症予防の活動促進

- 地域支援体制の強化

見守りSOSネットワーク

警察との連携

若年性認知症の方
への支援

認知症サポーター
ステップアップ講座

チームオレンジ
体制整備

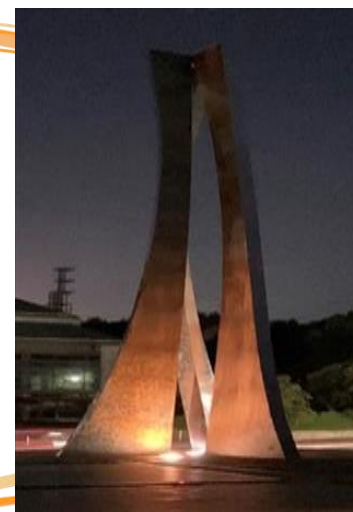
認知症
バリアフリーの
推進

「共生と予防」を両輪とする認知症施策の推進

標題 認知症の正しい理解を広めるための普及啓発活動

9月 認知症月間啓発

- 9月の認知症月間及び9月21日の認知症の日に際し、子どもから高齢者まで、さまざまな人へ認知症への正しい理解を広めるため、庁内放送を実施。
- 市役所前オブジェをオレンジ色にライトアップしたり、懸垂幕を掲揚。
- 認知症支援についての啓発、本人・家族の思いについて、市役所プロムナードや図書館で啓発展示。
- 神鉄三木駅のデジタルサイネージを活用し周知。
- みっきい☆健康アプリに健康コラムを掲載。
- 市職員向け「認知症サポーター養成講座」の開催



8月 認知症カフェ連絡会

●認知症カフェを運営されている団体8箇所が参加されました。コロナの影響で再開が出来ていないカフェもあり、実際開催しているカフェの内容や工夫されていることなど活発な意見交換となりました。アンケートでは、認知症カフェ連絡会を毎年実施してほしいとの声もありました。



11月 認知症サポーターステップアップ講座

●住民主体で認知症カフェを運営されている「にじいろカフェ」の8名が参加されました。

内容：①三木市の認知症施策について説明（市）
②認知症の基礎知識の講座（講師：西脇市立西脇病院認知症疾患医療センター）③チームオレンジについて説明（市）④グループワークなどを実施しました。グループワークではどんな支援が必要か、どんな事ができるかなどみんなで話しあいました。



認知症サポーター養成講座



令和6年度は **401名** の認知症サポーターが誕生しました **(累計7,048名)**

R7.3月末現在

対象者	人数
大学生	88名
高齢者大学生	54名
市職員	75名
いきいき体操・サポーター	61名
施設関係者	35名
地域団体・住民	88名

さまざまな年代の方、さまざまな立場の方に認知症のことを正しく学んでいただくことで、地域の皆さんが認知症に対しての偏見をなくし、適切な対応ができるよう取り組んでいます。



参加者の声

認知症は誰でも起こりうる。



認知症を理解し、寄り添う事の大切さを学んだ。優しく接していきたい。

温かい見守りや声かけなど無理せずやっていきたい。



一度、近くのカフェに行ってみたい。



本人ミーティングプレ開催

本人ミーティングを
プレ開催しました。

実施日

第1回 令和6年12月11日（水） 8名参加

第2回 令和7年 3月19日（水） 10名参加

第9期介護保険事業計画期間中の本格開催をめざしたプレ開催として、令和6年度も“もの忘れの気になる方”を対象に2回開催しました。

アイスブレーキングとしてクリスマスツリーの工作やさくらの折り紙などのワークに取り組んだ後、「もしバナゲーム」を行いました。ゲームを振り返り気づいたこと、日ごろ思っていることなど感想の時間を設け、「ここに来たから聞けた話があった」「また集まりたい」といった声を聞くことができました。

本人ミーティングのプレ開催を土台に、他市町の取り組みも研究しながら、本格開催に向けて検討していきます。



最後に・・・

令和6年度もたくさんの認知症サポーターが誕生しました。地域のひとりひとりが認知症を正しく理解し、他人事としてではなく、『自分のこと』として受け止め、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう引き続き周知・啓発に取り組んでいきます。

また、初めて認知症カフェ連絡会や認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。その後のチームオレンジ活動につなげていけるよう今後も取り組んでいきたいと思います。